

シュンギク

栽培のポイント

①まき溝は丁寧に

種子は一般的に発芽率が悪く、そろいがあまりよくありません。まき溝は入念に作り、土塊を砕いて均一な覆土にしましょう。

②高畝にしましょう

排水不良になってしまうと、根の伸びが悪くなります。水はけを良くするために、高畝を作って栽培しましょう。

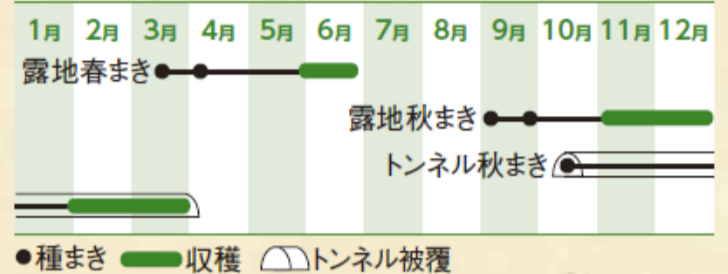
③摘み取りで収穫しましょう

大きくなった株は根をつけたまま収穫すると、すぐに収穫が終わってしまいます。まずは頂芽を摘み取りましょう。わき芽がのびて、再び収穫できます。



品種例
「大葉新菊」
「中葉新菊」など

栽培カレンダー



1 元肥入れ

【溝まきの場合】

<溝の長さ1mあたり>
堆肥:5～6握り
油粕:大さじ3杯
化成肥料:大さじ2杯
土をかけて埋め戻す

【ベッドまきの場合】

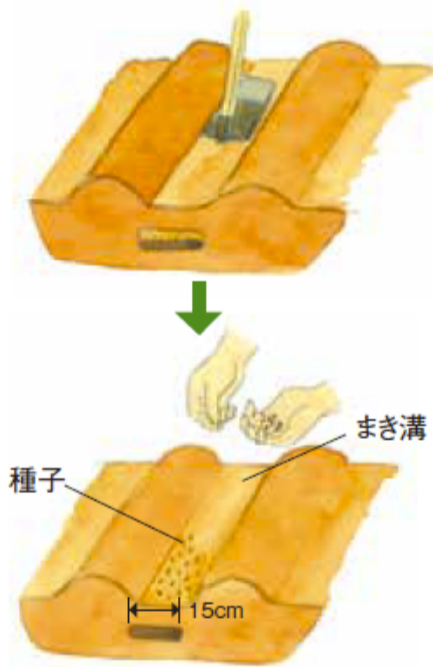
<1㎡あたり>
堆肥:バケツ1/2杯
油粕:大さじ5杯
化成肥料:大さじ3杯
全面に肥料をばらまき、耕す

2 種まき

【溝まきの場合】

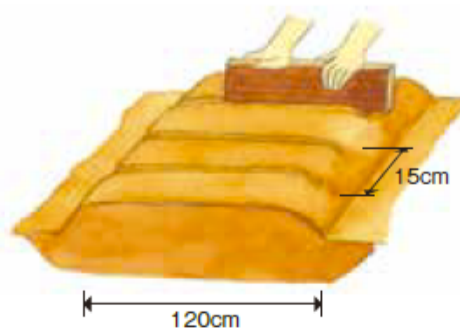
畝を往復させながら、溝の底面をきれいに平らにする

種をまいたら、手で土をもみ落とすようにしていねいに覆土し、鍬の背で軽く鎮圧する



【ベッドまきの場合】

板切れなどで7～8mmの深さの溝をつけ、種をまく



3 間引き

【第1回】

本葉2枚のころ2～3cm間隔にする

【第2回】

本葉7～8枚のころ5～6cm間隔に摘み取りする場合は広めの10cmくらいにする

4 追肥

【溝まきの場合】

溝の片側に施し、軽く土寄せをする
【第1回】
第1回間引き後
<畝の長さ1mあたり>
化成肥料:大さじ3杯

【第2回】

第2回間引き後、第1回の反対側に同量施す

【ベッドまきの場合】

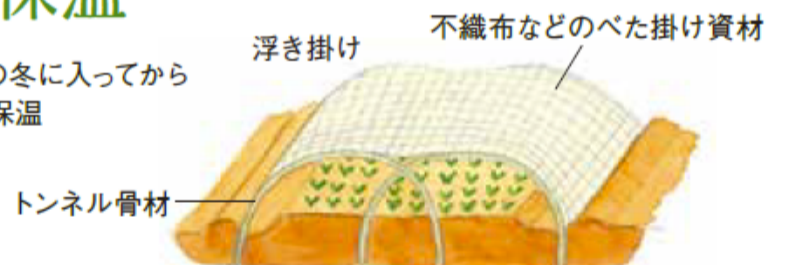
条間に肥料をまき竹べらで混ぜる
【第1回】
第1回間引き後
<ベッド1㎡あたり>
化成肥料:大さじ5杯

【第2回】

第2回間引き後、第1回と同量を条間に施す

5 保温

秋まきの冬に入ってから
の防寒保温



6 収穫

【間引き収穫】

本葉7～8枚、草丈15cmくらいになったら順次間引き収穫するとよいものが得られる

【摘み取り収穫】

本葉10枚くらいになったら、下の方の葉3～4枚を残して中心の茎を摘み取る

伸びたわき芽

わき芽が15cmくらいに伸びたら摘み取る



鍋物や天ぷら、おひたしなど色々な料理に使えるシュンギク。とれたての新鮮さが魅力なので、ぜひチャレンジしてください!

しそ営農生活センター 営農指導員
山下 久和